

南仏治安情報(2010年11月)

■プロヴァンス地方

1. グループ間抗争による殺人事件

11月には未遂を含め4件の殺人事件がありました。11月11日夜マルセイユ市 La Rose 地区で22歳男性が3人の男に射殺され、逃走する犯人の車に付近にいた男性が30メートル近く引きずられ重傷を負いました。13日には Penne Mirabeau で30代の男性1名が狙撃されました。

21日に15区の路上で27歳男性がスクーターに乗る男に狙撃され軽症を負いました。マルセイユ市内では麻薬取引グループ間の抗争が元で、2010年に入り11ヶ月間で17件の殺人事件が発生し14人が死亡しています。運悪く付近に居合わせることで事件に巻き込まれる可能性も高いので、治安の悪い地域には近づかないなど十分にご注意ください。

2. ローズ地区「シテ」での抗争激化

11月19日午後10時頃、マルセイユのクロ・ラ・ローズ地区の「シテ」(集合住宅地)において発砲事件が発生し、3人の死傷者が出ました。

被害者の1人は16歳の少年で、胸と手足を撃たれ、死亡。2人目は11歳の少年で胸や首、手足を撃たれたものの、奇跡的に命を取り留めています。3人目は、22歳男性で、犯人が車で逃走している最中に高速道路上で腕を撃たれたが軽傷で済みました。

死亡した少年はもともと薬物密売に絡んで警察の目にも止まっていた少年ですが、11歳の少年についても執拗に追いかけて結果、撃たれていることから、密売組織と何らかの関係があったのではないかと考えられており、当局は本件が密売に絡む報復事案であったとの見方を強めています。

犯人グループは2台の高級車に分乗し今回の犯行に及んでいますが、犯行に使われた車は逃走後、火を放たれ焼き焦げた状態で発見されました。同車内からは黒焦げのカラシニコフ3丁が発見されており、これらが犯行に使用されたと考えられています。

3. 武器を伴う強盗事件が多発

11月には地方紙が報じたものだけでも18件(内13件はマルセイユ)の商店への強盗事件が発生しました。被害はタバコ屋などの小型商店の他、宝石店や高級車販売店などが主で、2~4人組の嚴重に武装した犯人による犯行が多いようです。中には10人近くの武装グループが金属加工会社の建物の一部を破壊して侵入し、80万ユーロ相当の金属を盗む事件もありました。

4. カード情報等の取り扱いに改めて注意を

11月に入りヴォークリューズ県内で中国系フランス人の42歳男がカード詐欺の疑いで逮捕されました。この男は数年前から中国・フランス間でのワイン輸出入業や個人旅行者の添乗員の仕事の傍ら客のカードを盗んだり、旅行者がホテル予約やチケット予約をする際に自分のパソコンを使うよう勧め、パソコン内に残ったカード情報など個人情報を悪用し、数千ユーロの買い物をしていました。自分のパソコン以外で支払いをする際は、個人データの扱いに十分注意をしてください。

5. 業者を自宅に入れる際には注意を

マルセイユ市内で自宅の修理のために業者を中に入れ、作業をさせていたところ、携帯電話が盗まれるという事件が発生しました。修理等で業者を自宅に入れる際には動向をしっかりと確認するとともに、貴重品を目につくところに置かないように注意してください。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. アルプ・マリタイム県の犯罪統計

11月下旬に県庁が発表した統計によると、アルプ・マリタイム県内の2010年1月1日から10月31日までの犯罪件数は72816件と、2009年同時期の76198件に比べ4.4%の減少傾向にあることが明らかになりました。中でも空き巣被害が8.99%(7142件、前年同時期7848件)と大幅に減少しています。

2. 宝石店などへの強盗事件が多発

11月には地方紙が報じたものだけでも8件の商店などへの強盗事件が発生しました。内5件は宝石店が被害に遭っており、犯行時間は午前中などで客を装って店内に侵入するケースが連続して見られています。クリスマスシーズンに向け同様の犯罪が増加する可能性が高いので、外出の際は十分ご注意ください。

3. ニース駅付近の偽タクシーに注意

ニース駅付近では数ヶ月前より十数台の偽タクシーが客引きをし、正規タクシーの運転手を脅すなどの営業妨害が続いています。偽タクシー運転手は駅前だけでなく、駅舎内や電車ホームでも通常より安い値段を持ち掛け客引きをすることがあるようです。旅客運輸のための保険に入っていないため、事故が起きた際に乗客への保障がありません。ご注意ください。

4. スペインからイタリアへの麻薬密輸ルート

スペインから南フランスを経てイタリアへ続く麻薬密輸ルートは、高速料金所などで頻繁に取締りがされていますが、10月末から11月には地方紙が報じたものだけでもLa Turbie料金所で4件の検挙がありました。トラックなどのスペアタイヤの中に隠されていることが多く、合計約210kgのカナビス樹脂が押収されました。

■ミディ・ピレネー地方(地方紙『ラ・デペッシュ・デュ・ミディ』『ミディ・リーブル』より)

1. オート・ガロンヌ県の犯罪統計

県庁の発表によるとオート・ガロンヌ県で2010年9月に起きた犯罪は765件と、前年9月に比べ15%もの増加傾向にあることがわかりました。中でも特に問題となるのが暴力を伴う犯罪で240件と前年比32%増加、他にも空き巣の被害が498件と前年比35%増加しています。暴力事件は2010年1月から9月で累計6641件と前年に比べ5.21%の増加を見せています。

2. 小型商店への強盗事件が多発

11月には地方紙が報じたものだけで16件(内12件はトゥールーズ市内)の商店への強盗事件が起きました。被害はパン屋や美容室などの小型商店に多く、1~2人組でナイフを用いて店員を脅し売上金を盗む事件が見られました。被害額は小額であることが多いのですが、生活費を稼ぐために安易に犯行に及ぶ者も多いようで、警察は警戒を呼びかけています。

3. モンペリエ市中心部での万引きが増加

モンペリエ市中心部 Ecusson 地区では、2010 年に入りタバコ屋など小型商店での万引きが増加しています。犯人のほとんどが未成年で逮捕しても釈放されることが多く、同じ店舗で何度も繰り返すことも多いようです。モンペリエ市警察が介入する窃盗事件の20%が当地区での万引きに当たり、1 件につき平均 90 ユーロの被害が出ています。

4. 偽の賃貸情報に注意

トゥールーズ市ではインターネット上に掲載された賃貸情報による詐欺事件が起き、ここ数週間で 8 件の被害届が出ています。アパートや家などの情報を見て直接大家に連絡をすると、大家はパリやロンドンなどに住んでおりすぐに会えないので、物件確保のため予約金として 200～400 ユーロを振り込むように指示されますが、支払った後に連絡が途絶えるという手口です。家探しに限らず、偽の情報が氾濫していることを忘れず充分にご注意ください。

以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。